（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和5年6月30日※1
（前回公表年月日 令和4年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健・スポーツ専門学校	平成14年4月1日	吉谷野 潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30 （電話）092-262-2119

設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03-5570-3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ科学科 アスレティックトレーナーコース	平成16年文部科学省告示第17号	―

学科の目的	スポーツ選手の健康管理、ケガの予防、スポーツ障害、外傷の応急処置、アスレティックリハビリテーション、体力トレーニング、コンディショニングを学び、傷害予防とコンディショニングの専門家としての役割だけでなく、アスリートの教育者、相談役、また選手をサポートしていく上でのコーディネートができる人材を育成する。
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間		2,805	1,425	1,020	360	0	0
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人の内数	64人	0人	4人の内数	44人の内数	48人の内数

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■夏 季： 7月24日～8月20日 ■冬 季：12月23日～1月9日 ■学年末： 3月11日～3月31日	卒業・進級条件	1. 進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。 2. 2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制： 有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化 ②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行委員会 ②ボランティア実行委員会 ③学園祭実行委員会 ④体育大会実行委員会 その他 ■サークル活動： 有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） スポーツクラブ、スポーツ施設、クリニック、整骨院、リラクゼーション ■就職指導内容 就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っている。 ■卒業者数 15 人 ■就職希望者数 12 人 ■就職者数 12 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 80.0 % ■その他 令和4年度卒業者に関する 令和5年5月31日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年3月31日時点の情報） 資格・検定名 / 種 / 受験者数 / 合格者数 健康運動実践指導者 / ③ / 5人 / 3人 アスレティックトレーナー / ③ / 13人 / 2人 BAQインストラクター レベル1 / ③ / 15人 / 15人 NSCA－CPT / ③ / 9人 / 6人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
中途退学の現状	■中途退学者 1 名 ■中退率 20 % 令和４年４月１日時点において、在学者５０名（令和４年４月１日入学者を含む） 令和５年３月３１日時点において、在学者４９名（令和５年３月３１日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の慶成会クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（無金利・手数料等無、保証人不要） ③長期履修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付： 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）		
当該学科のホームページURL	HTTP://www.ikon.ac.jp/		

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。(以下図により、編成意思決定の過程を示す)

(教育課程編成委員会) P(プラン) → (学校・学科) D(実行) → (教育課程編成委員会) C(チェック) → (学校・学科) A(改善) → P(プラン)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
前田 弘	公益財団法人 日本サッカー協会 医学委員会委員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	①
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長・スポーツ科学科 学科長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	—
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	—
河口 青児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	—
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

(開催日時)

第1回 令和 5年 5月19日 15:30～17:00

第2回 令和 6年 1月26日 13:00～15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
大手スポーツクラブは、専門技術・知識に加え、マネジメントができる人材の採用を強化しているとの意見を頂いたので、「スポーツ経営学」の授業改善と強化を図った。また、現場を経験する機会をさらに増やした方が良いという意見を頂いたので、従来の実習、金鷲旗柔道大会・玉竜旗剣道大会でのメディカルサポート、サニックスワールドラグビー大会でのメディカルラリーに加え、全国高等学校選抜自転車競技大会のメディカルサポートも新たに実施する。また、介護予防の運動指導のニーズが高まっているとの指摘に応え、「健康運動実践指導者資格」の取得に加え、「健康予防管理専門士資格」取得に向けた「介護予防運動指導員講座」「健康予防管理専門士受験対策講座」を設け、強化を図っている。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
レジスタンス	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
レジスタンス2	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶ。	(株)Energy Lab

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に含わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会
主　催:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
実施日:令和5年3月14日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:「健康づくりのための身体活動基準2013」および「身体活動指針」改定案と新たな基準／R4年度認定試験評価統括、R5年度認定試験実施総括

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:CPAアカデミック資格講座
主　催:一般社団法人 日本プライバシー認証機構
実施日:令和4年12月6日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:学校法人等における個人情報保護法令と条例、個人情報保護法、個人情報保護規程と個人情報取扱ルール等

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:アスレティックトレーナー専任教員ミーティング
主　催:公益財団法人 日本スポーツ協会
実施日:令和5年8月21日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:アスレティックトレーナー免除適応コース承認基準を満たす内容・申請に関わる重要事項について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2023年度日本トレーニング指導者協会養成校養成機関説明会
主　催:特定非営利法人 日本トレーニング指導者協会
実施日:令和5年4月17日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:トレーニング指導者について、JATI認定トレーニング指導者の構成、資格の特徴、資格保有者への支援、
資格取得後の進路と将来性、日本フィットネス産業協会との提携ついて

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

スポーツ科学は、運動が好きで入学してきて目的が明確でない学生が他学科より多いとの指摘があった。これに対処すべく、入学前のオープンキャンパスのテーマを自己発見とし、目指す職業を明確にすることに力点を置いた。更に職業観や仕事観を確立するために、入学前オリエンテーション、新入生オリエンテーション、1年前期に業界の仕事理解のための特別講義などを実施した。また、座学では席を固定しているが、後方の席の学生が緊張感をなくしたり、十分に授業についていけない学生が後方の席になる場合があるので、学生一人ひとりの状況に合わせて、適時、席替えをすることのアドバイスを頂いた。学生の状況を考慮して、前期・後期で席替えを実施した。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、その他の意見としては、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

(令和5年4月1日現在)

名　前	所　属	任　期	種　別
村田　栄治	村田整骨院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要　信義	要鍼灸院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本　修二	社会医療法人財団池友会　福岡和白病院 医療連携室　主幹	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (救急救命公務員科)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック　統括部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院　医療部門科長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科)
案西　浩平	医療法人社団　桜香　あんざい歯科クリニック 理事長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科)
今里　安江	医療法人社団　扶洋会　楽病院　看護部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(看護科)
安積　研二	AcroBats株式会社　取締役会長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (スポーツ科学科)
中西　祐介	株式会社サンドラッグ　人事部採用課主任	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科)
谷口　貴隆	スポーツ科学科　卒業生	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	卒業生代表
冨崎　尚美	在校生(鍼灸科2年)保護者	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	保護者代表
稲富　勉	福岡県立香椎高等学校　校長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
戎崎　淳一	福岡市博多区大浜公民館　館長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	地域関係者

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　令和5年6月30日　(前回 令和4年6月30日)

(ホームページ)・広報誌等の刊行物　・その他(　　)　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年歴　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号 取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL:　http://www.iken.ac.jp/

（別紙様式１－２）

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程スポーツ科学科アスレティックトレーナーコース）令和５年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			英会話	国際化に対応できる日常英会話を身につけるとともに、グローバルな感性を養う。	1	30	2	○			○			○	
2	○			コミュニケーションスキル	対人援助職として必要なコミュニケーションを行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
3	○			コンピュータ	ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	
4	○			就職試験対策講座	就職活動で必要となるスキルとマナーを身につけ、就職活動に活かすことができる。	2	30	2	○			○			○	
5	○			機能的解剖学	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
6	○			機能的解剖学2	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
7	○			スポーツ生理学	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
8	○			スポーツ生理学2	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
9	○			発育発達	発達段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
10	○			健康管理概論	健康づくりや疾病予防の基礎的な知識の考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明できる。	2	30	2	○			○			○	
11	○			ボディケア	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
12	○			スポーツ障害	運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。	1	30	2		○		○			○	

13	○			スポーツ医学	スポーツ障害にもならず、内科的疾病を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを習得することができる。	1	30	2	○			○			○	
14	○			スポーツ心理学	運動指導する際に心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、指導に活かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
15	○			体力測定法	体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明できる。	1	30	2		○		○			○	
16	○			スポーツ栄養学	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
17	○			スポーツ栄養学２	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
18	○			スポーツ社会学	スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけまとめることができる。	1	30	2	○			○			○	
19	○			プログラムデザイン	対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、作成できる。	1	30	2	○			○			○	
20	○			スポーツバイオメカニクス	スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。	2	30	2	○			○			○	
21	○			スポーツプログラミング	トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチの理論を説明できるようになる。	2	30	2	○			○			○	
22	○			コーチング論	運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。	2	30	2	○			○			○	
23	○			コンディショニング	身体の調整を行うための技術を身につけ、実際に身体調整ができる。	1	30	2		○		○			○	
24	○			フィットネスエクササイズ	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
25	○			レジスタンス	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
26	○			レジスタンス2	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
27	○			トレーニング科学	各種トレーニングの基礎知識、指導方法を学び、トレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	

28	○			水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導できる。	1	15	1		○		○			○	○
29	○			進路指導	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
30	○			進路指導2	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
31	○			進路指導3	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
32	○			進路指導4	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
33	○			ゼミ	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○		○	○	
34	○			ゼミ2	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○		○	○	
35	○			進級制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
36	○			卒業制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
37			○	業界研修	学習した知識・技術を実践で用い、実践力や社会人基礎力を身につける。	1	60	2			○		○		○	
38			○	インターンシップ	インターンシップを通して職業観を養い、就職活動に活かすことができる。	2	60	2			○		○		○	
39			○	専門実技演習	専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明ができる。	2	30	2		○		○		○	○	
40			○	専門科目	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○		○	○	
41			○	専門科目2	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○		○	○	
42			○	専門科目3	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○		○	○	

43			○	専門科目4	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○		○	○	
44			○	イベント・ボランティア活動	学内外で行われる様々なイベントやボランティア活動を通してリーダーシップ、フォローワーシップを体得できる。	1 2	60	2			○		○	○	○	
45			○	健康運動実践指導者基礎講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
46			○	健康運動実践指導者筆記試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○		○		
47			○	健康運動実践指導者実技試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
48			○	アスリートフードマイスター	アスリートのパフォーマンスを最大化するための最適な食プログラムを学び、クライアントに合わせた食事指導ができる。	1	15	1	○			○			○	
49			○	SAQインストラクター レベル1試験対策講座	スピードシステムや解剖学的な視点から知識や動作を獲得し、コーチング視点を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
50			○	幼児体育指導者	子どもに身体を動かす楽しさや素晴らしさを伝えることができる。理論・指導手順・手本・補助を正しく学び、自信を持って指導できるスキルを身につける。	1 2	15	1		○		○			○	
51			○	FTPマットピラティス受験対策講座	身体の内側に意識を集中させ、全身をバランスよく動かしながら、身体の筋肉を鍛えゆがみのない柔軟性のあるしなやかな身体を身につけ、指導できる。	2	30	2		○		○			○	
52			○	ADI筆記試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2	○			○			○	
53			○	ADI実技試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
54			○	スキルアップ Skill Up	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
55			○	トレーニング指導者基礎講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
56			○	トレーニング指導者受験対策講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
57			○	スポーツシューフィッター	足の機能解剖や疾患の評価、治療に関する知識や形態観察とサイジング技術を習得。目的に合った正しいシューズ選びとインソール選択のアドバイスができる。	1	15	1	○			○			○	

58			○	AT受験対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	1	30	2	○			○			○	
59			○	AT受験対策講座2	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
60			○	AT受験対策講座3	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
61			○	AT実技対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2		○		○			○	
62			○	RF受験対策講座	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
63			○	RF受験対策講座2	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
64			○	リトモス受験対策講座	各種のダンス（ヒップホップ、ラテン、ダンス、サルサトン、ジャズ、アラビアン、レゲトン）レッスンができる。	2	30	2		○		○			○	
65			○	健康予防管理専門士受験対策講座	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	1	30	2	○			○			○	
66			○	健康予防管理専門士受験対策講座2	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	2	15	1	○			○			○	
67			○	NSCA受験対策講座	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
68			○	NSCA受験対策講座2	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
69			○	MOSスペシャリスト受験講座	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
70			○	MOSスペシャリスト受験講座2	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
71	○			救急法	人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得できる。	1	30	2	○			○			○	
72	○			アスレティックトレーナー論	スポーツ環境におけるアスレティックトレーナーの役割とその業務を具体的に説明ができる。	1	30	2	○			○		○		
73	○			スポーツ整形外科学	アスレティックトレーナーが活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害について適切な対処ができる。	1	30	2	○			○			○	

74	○			ピラティス	体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。	1	30	2		○		○			○	
75	○			スポーツ障害2	運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。	1	30	2		○		○			○	
76	○			スポーツ整形外科学2	アスレティックトレーナーが活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害について適切な対処ができる。	1	30	2	○			○			○	
77	○			スポーツ心理学2	心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、主としてスポーツと人間形成や行動規範など指導に生かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
78	○			コンディショニング演習	コンディショニング評価の必要性を理解し、その評価方法を学び、評価に適したトレーニング計画の立案、設計ができる。	1	30	2		○		○			○	
79	○			スポーツ内科学	内臓器官などの疾患の病態、症状について認識できるようになるとともに、運動時の対応策（運動許可の条件を含む）、処置、予防策を講じることができる。	1	30	2	○			○			○	
80	○			応急処置	救急処置を実施する者は正しい知識とモラルを十分に持つ必要があることを理解し、救急処置を実施する上で必要となる基本的な留意点について理解できる。	2	30	2		○		○		○		
81	○			測定評価1	機能評価のプロセスを説明できるようになり、機能評価に必要な検査測定の項目をあげることができる。機能評価における検査測定結果を解釈し、運動機能に関する問題点を抽出できる。	2	30	2		○		○			○	
82	○			アスレティックリハビリテーション	アスレティックリハビリテーションの概要（目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項等）について理解し、アスレティックリハビリテーションを講じることができる。	2	30	2		○		○		○		
83	○			コンディショニング演習2	コンディショニング評価の必要性を理解し、その評価方法を学び評価に適したトレーニング計画の立案、設計ができる。	2	30	2		○		○			○	
84	○			トレーナー講座	コンディショニング評価の必要性を理解し、その評価方法を学び評価に適した計画の立案、設計ができる。	2	30	2		○		○			○	
85	○			アスレティックリハビリテーション2	アスレティックリハビリテーションの概要（目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項等）について理解し、アスレティックリハビリテーションを講じることができる。	2	30	2		○		○			○	
86	○			測定評価2	機能評価のプロセスを説明できるようになり、機能評価に必要な検査測定の項目をあげることができる。機能評価における検査測定結果を解釈し、運動機能に関する問題点を抽出できる。	2	30	2		○		○			○	
87	○			アスレティックリハビリテーション3	アスレティックリハビリテーションの概要（目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項等）について理解し、アスレティックリハビリテーションを講じることができる。	2	30	2		○		○			○	
88	○			アスレティックトレーナー実習	実際のスポーツ現場における実習を通して、アスレティックトレーナーとしての技術を身につけることができる。	1 2	180	6			○		○		○	
合計					88 科目			175 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等

卒業要件：	２年間の合計修得単位が１１４単位以上の者は、卒業することができる。 ※不合格科目のある者は卒業判定会議により最終決定する。	１学年の学期区分	２期
履修方法：	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和5年6月30日※1
（前回公表年月日：令和4年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健・スポーツ専門学校	平成14年4月1日	古谷野　潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30 （電話）092-262-2119
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟　邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03-5578-3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ科学科　スポーツインストラクターコース	平成16年文部科学省告示第17号	―

学科の目的	子供たちの身体運動に関し、理論から実践に至るまで、専門家としての基本となる技術を身に付け、幼児スポーツの指導員となって、子供たちの成長段階に応じた支援・援助及び指導ができる人材を育成する
認定年月日	平成 25 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2,565	1,275	1,110	180	0	0
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人の内数	1人	0人	4人の内数	44人の内数	48人の内数

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■夏　季：7月24日～8月20日 ■冬　季：12月23日～1月9日 ■学年末：3月11日～3月31日	卒業・進級条件	1. 進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。 2. 2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化 ②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行委員会 ②ボランティア実行委員会 ③学園祭実行委員会 ④体育大会実行委員会　その他 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） 該当者なし ■就職指導内容 就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っている。 ■卒業者数　0　人 ■就職希望者数　0　人 ■就職者数　0　人 ■就職率　0　% ■卒業者に占める就職者の割合 ：　0　% ■その他 令和4年度卒業者に関する 令和5年3月31日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年3月31日時点の情報） 資格・検定名 / 種 / 受験者数 / 合格者数 該当者なし ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
中途退学の現状	■中途退学者　0 名　■中退率　0.0 % 令和4年4月1日時点において、在学者0名（令和4年4月1日入学者を含む） 令和5年3月31日時点において、在学者0名（令和5年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 〔※令和4年3月31日時点に在籍していた2名は、令和4年4月1日付でスポーツトレーナーコースに転コース〕 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の慶成会クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（無金利・手数料等無、保証人不要） ③長期履修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）		
当該学科のホームページURL	HTTP://www.iken.ac.jp/		

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。
(以下図により、編成意思決定の過程を示す)

(教育課程編成委員会) P(プラン) → (学校・学科) D(実行) → (教育課程編成委員会) C(チェック) → (学校・学科) A(改善) → P(プラン)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
前田 弘	公益財団法人 日本サッカー協会 医学委員会委員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	①
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長・スポーツ科学科 学科長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
河口 青児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

(開催日時)

第1回 令和 5年 5月19日 15:30～17:00

第2回 令和 6年 1月26日 13:00～15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
大手スポーツクラブは、専門技術・知識に加え、マネジメントができる人材の採用を強化しているとの意見を頂いたので、「スポーツ経営学」の授業改善と強化を図った。また、現場を経験する機会をさらに増やした方が良いという意見を頂いたので、従来の実習、金鷲旗柔道大会・玉竜舞剣道大会でのメディカルサポート、サニックスワールドラグビー大会でのメディカルラリーに加え、全国高等学校選抜自転車競技大会のメディカルサポートも新たに実施する。また、介護予防の運動指導のニーズが高まっているとの指摘に応え、「健康運動実践指導者資格」の取得に加え、「健康予防管理専門士資格」取得に向けた「介護予防運動指導員講座」「健康予防管理専門士受験対策講座」を設け、強化を図っている。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
レジスタンス	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
レジスタンス2	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶ。	(株)Energy Lab

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会
主　催:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
実施日:令和5年3月14日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:「健康づくりのための身体活動基準2013」および「身体活動指針」改定案と新たな基準／R4年度認定試験評価統括、R5年度認定試験実施総括

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:CPAアカデミック資格講座
主　催:一般社団法人 日本プライバシー認証機構
実施日:令和4年12月6日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:学校法人等における個人情報保護法令と条例、個人情報保護法、個人情報保護規程と個人情報取扱ルール等

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:アスレティックトレーナー専任教員ミーティング
主　催:公益財団法人 日本スポーツ協会
実施日:令和5年8月21日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:アスレティックトレーナー免除適応コース承認基準を満たす内容・申請に関わる重要事項について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2023年度日本トレーニング指導者協会養成校養成機関説明会
主　催:特定非営利法人 日本トレーニング指導者協会
実施日:令和5年4月17日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:トレーニング指導者について、JATI認定トレーニング指導者の構成、資格の特徴、資格保有者への支援、
資格取得後の進路と将来性、日本フィットネス産業協会との提携ついて

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

スポーツ科学は、運動が好きで入学してきて目的が明確でない学生が他学科より多いとの指摘があった。これに対処すべく、入学前のオープンキャンパスのテーマを自己発見とし、目指す職業を明確にすることに力点を置いた。更に職業観や仕事観を確立するために、入学前オリエンテーション、新入生オリエンテーション、1年前期に業界の仕事理解のための特別講義などを実施した。また、座学では席を固定しているが、後方の席の学生が緊張感をなくしたり、十分に授業についていけない学生が後方の席になる場合があるので、学生一人ひとりの状況に合わせて、適時、席替えをすることのアドバイスを頂いた。学生の状況を考慮して、前期・後期で席替えを実施した。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、その他の意見としては、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

(令和5年4月1日現在)

名　前	所　属	任　期	種　別
村田　栄治	村田整骨院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要　信義	要鍼灸院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本　修二	社会医療法人財団池友会　福岡和白病院 医療連携室　主幹	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (救急救命公務員科)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック　統括部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院　医療部門科長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科)
案西　浩平	医療法人社団　桜香　あんざい歯科クリニック 理事長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科)
今里　安江	医療法人社団　扶洋会　桑病院　看護部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(看護科)
安積　研二	AcroBats株式会社　取締役会長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (スポーツ科学科)
中西　祐介	株式会社サンドラッグ　人事部採用課主任	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科)
谷口　貴隆	スポーツ科学科　卒業生	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	卒業生代表
富崎　尚美	在校生(鍼灸科2年)保護者	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	保護者代表
稲富　勉	福岡県立香椎高等学校　校長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
戎崎　淳一	福岡市博多区大浜公民館　館長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	地域関係者

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　令和5年6月30日　(前回 令和4年6月30日)

(ホームページ)　・　広報誌等の刊行物　・　その他(　　)　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年歴　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号 取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL:　http://www.iken.ac.jp/

（別紙様式１－２）

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程スポーツ科学科スポーツインストラクターコース）令和５年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			英会話	国際化に対応できる日常英会話を身につけるとともに、グローバルな感性を養う。	1	30	2	○			○			○	
2	○			コミュニケーションスキル	対人援助職として必要なコミュニケーションを行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
3	○			コンピュータ	ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	
4	○			就職試験対策講座	就職活動で必要となるスキルとマナーを身につけ、就職活動に活かすことができる。	2	30	2	○			○			○	
5	○			機能的解剖学	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
6	○			機能的解剖学2	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
7	○			スポーツ生理学	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
8	○			スポーツ生理学2	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
9	○			発育発達	発達段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
10	○			健康管理概論	健康づくりや疾病予防の基礎的な知識の考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明できる。	2	30	2	○			○			○	
11	○			ボディケア	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
12	○			スポーツ障害	運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。	1	30	2		○		○			○	

13	○			スポーツ医学	スポーツ障害にもならず、内科的疾病を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを習得することができる。	1	30	2	○			○			○	
14	○			スポーツ心理学	運動指導する際に心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、指導に活かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
15	○			体力測定法	体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明できる。	1	30	2		○		○			○	
16	○			スポーツ栄養学	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
17	○			スポーツ栄養学２	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
18	○			スポーツ社会学	スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけまとめることができる。	1	30	2	○			○			○	
19	○			プログラムデザイン	対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、作成できる。	1	30	2	○			○			○	
20	○			スポーツバイオメカニクス	スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。	2	30	2	○			○			○	
21	○			スポーツプログラミング	トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチの理論を説明できるようになる。	2	30	2	○			○			○	
22	○			コーチング論	運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。	2	30	2	○			○			○	
23	○			コンディショニング	身体の調整を行うための技術を身につけ、実際に身体調整ができる。	1	30	2		○		○			○	
24	○			フィットネスエクササイズ	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
25	○			レジスタンス	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
26	○			レジスタンス2	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
27	○			トレーニング科学	各種トレーニングの基礎知識、指導方法を学び、トレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	

28	○			水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導できる。	1	15	1		○		○			○	○
29	○			進路指導	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
30	○			進路指導2	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
31	○			進路指導3	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
32	○			進路指導4	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
33	○			ゼミ	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
34	○			ゼミ2	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
35	○			進級制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
36	○			卒業制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
37			○	業界研修	学習した知識・技術を実践で用い、実践力や社会人基礎力を身につける。	1	60	2			○		○		○	
38			○	インターンシップ	インターンシップを通して職業観を養い、就職活動に活かすことができる。	2	60	2			○		○		○	
39			○	専門実技演習	専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明ができる。	2	30	2		○		○			○	
40			○	専門科目	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
41			○	専門科目2	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
42			○	専門科目3	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	

43			○	専門科目4	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
44			○	イベント・ボランティア活動	学内外で行われる様々なイベントやボランティア活動を通してリーダーシップ、フォローワーシップを体得できる。	1 2	60	2			○		○	○	○	
45			○	健康運動実践指導者基礎講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
46			○	健康運動実践指導者筆記試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○		○		
47			○	健康運動実践指導者実技試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
48			○	アスリートフードマイスター	アスリートのパフォーマンスを最大化するための最適な食プログラムを学び、クライアントに合わせた食事指導ができる。	1	15	1	○			○			○	
49			○	SAQインストラクター レベル1試験対策講座	スピードシステムや解剖学的な視点から知識や動作を獲得し、コーチング視点を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
50			○	幼児体育指導者	子どもに身体を動かす楽しさや素晴らしさを伝えることができる。理論・指導手順・手本・補助を正しく学び、自信を持って指導できるスキルを身につける。	1 2	15	1		○		○			○	
51			○	FTPマットピラティス受験対策講座	身体の内側に意識を集中させ、全身をバランスよく動かしながら、身体の筋肉を鍛えゆがみのない柔軟性のあるしなやかな身体を身につけ、指導できる。	2	30	2		○		○			○	
52			○	ADI筆記試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2	○			○			○	
53			○	ADI実技試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
54			○	スキルアップ Skill Up	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
55			○	トレーニング指導者基礎講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
56			○	トレーニング指導者受験対策講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
57			○	スポーツシューフィッター	足の機能解剖や疾患の評価、治療に関する知識や形態観察とサイジング技術を習得。目的に合った正しいシューズ選びとインソール選択のアドバイスができる。	1	15	1	○			○			○	

58			○	AT受験対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	1	30	2	○			○			○	
59			○	AT受験対策講座2	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
60			○	AT受験対策講座3	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
61			○	AT実技対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2		○		○			○	
62			○	RF受験対策講座	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
63			○	RF受験対策講座2	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
64			○	リトモス受験対策講座	各種のダンス（ヒップホップ、ラテン、ダンス、サルサトン、ジャズ、アラビアン、レゲトン）レッスンができる。	2	30	2		○		○			○	
65			○	健康予防管理専門士受験対策講座	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	1	30	2	○			○			○	
66			○	健康予防管理専門士受験対策講座2	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	2	15	1	○			○			○	
67			○	NSCA受験対策講座	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
68			○	NSCA受験対策講座2	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
69			○	MOSスペシャリスト受験講座	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
70			○	MOSスペシャリスト受験講座2	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
71	○			救急法	人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得できる。	1	30	2	○			○		○		
72	○			グループレッスン	複数で一緒に運動プログラムやリラクゼーションプログラムを体験するとともに、グループに対する指導スキルを身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
73	○			ピラティス	体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。	1	30	2		○		○			○	

74	○			スタジオプログラム	フィットネス業界で流行しているスタジオプログラムを体験し、スキル・体力を高めることができる。	1	30	2		○		○			○	
75	○			ボディケア2	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
76	○			バランストレーニング	バランストレーニングの様々なツールを使用した指導法を学ぶ。指導プログラムを立案できる。	1	30	2		○		○			○	
77	○			フィットネスエクササイズ2	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
78	○			機能解剖学演習	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。	2	30	2		○		○			○	
79	○			ヨガ	理論から呼吸法、実践指導にいたるまでのすべてを学び、実践できる。	2	30	2		○		○			○	
80	○			対象者別運動指導	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。	2	30	2		○		○			○	
81	○			パーソナル指導法	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
82	○			グループレッスン2	複数で一緒に運動プログラムやリラクゼーションプログラムを体験するとともに、グループに対する指導スキルを身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
83	○			スタジオプログラム2	フィットネス業界で流行しているスタジオプログラムを体験し、スキル・体力を高めることができる。	2	30	2		○		○			○	
84	○			フィットネスエクササイズ3	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
85	○			パーソナル指導法2	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
合計					85 科目			165 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	２年間の合計修得単位が１１４単位以上の者は、卒業することができる。 ※不合格科目のある者は卒業判定会議により最終決定する。	１学年の学期区分	２期
履修方法：	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和5年6月30日※1
（前回公表年月日：令和4年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健・スポーツ専門学校	平成14年4月1日	古谷野　潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30 （電話）092-262-2119

設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟　邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03-5578-3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ科学科　スポーツトレーナーコース	平成16年文部科学省告示第17号	―

学科の目的	一般の方からトップアスリートまでスポーツ選手を中心に、トレーニング指導、コンディショニングの維持管理、傷害の予防・処置、リハビリテーションなどを行える人材を育成する
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	3,015	1,335	1,380	300	0	0
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人の内数	37人	0人	4人	44人	49人

学期制度	■前期：4月13日～9月15日 ■後期：10月2日～2月19日	成績評価	有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■夏　季：7月24日～8月20日 ■冬　季：12月23日～1月9日 ■学年末：3月11日～3月31日	卒業・進級条件	1．進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。2．2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化 ②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行委員会 ②ボランティア実行委員会 ③学園祭実行委員会 ④体育大会実行委員会　その他 ■サークル活動：有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） スポーツクラブ・施設、クリニック、整骨院、リラクゼーションサロン ■就職指導内容 就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っている。 ■卒業者数　27　人 ■就職希望者数　24　人 ■就職者数　24　人 ■就職率　100　% ■卒業者に占める就職者の割合　88.9　% ■その他 令和4年度卒業者に関する令和5年5月31日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年3月31日時点の情報） 健康運動実践指導者　③　6人　3人 SAQインストラクター レベルI　③　15人　15人 NSCA－CPT　③　9人　7人 健康予防管理専門士　③　5人　3人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
中途退学の現状	■中途退学者　5 名　■中退率　11.9 % 令和４年４月１日時点において、在学者４２名（令和４年４月１日入学者を含む） 令和５年３月３１日時点において、在学者３７名（令和５年３月３１日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、健康上理由、家庭都合 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の医療会クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（無金利・手数料等無、保証人不要） ③長期座修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）		
当該学科のホームページURL	HTTP://www.iken.ac.jp/		

（留意事項）

1．公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2．就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3．主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。（①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。(以下図により、編成意思決定の過程を示す)

(教育課程編成委員会) P(プラン) → (学校・学科) D(実行) → (教育課程編成委員会) C(チェック) → (学校・学科) A(改善) → P(プラン)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
前田 弘	公益財団法人 日本サッカー協会 医学委員会委員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	①
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長・スポーツ科学科 学科長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
河口 青児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

(開催日時)

第1回 令和 5年 5月19日 15:30～17:00

第2回 令和 6年 1月26日 13:00～15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
大手スポーツクラブは、専門技術・知識に加え、マネジメントができる人材の採用を強化しているとの意見を頂いたので、「スポーツ経営学」の授業改善と強化を図った。また、現場を経験する機会をさらに増やした方が良いという意見を頂いたので、従来の実習、金鷲旗柔道大会・玉竜輝剣道大会でのメディカルサポート、サニックスワールドラグビー大会でのメディカルラリーに加え、全国高等学校選抜自転車競技大会のメディカルサポートも新たに実施する。また、介護予防の運動指導のニーズが高まっているとの指摘に応え、「健康運動実践指導者資格」の取得に加え、「健康予防管理専門士資格」取得に向けた「介護予防運動指導員講座」「健康予防管理専門士受験対策講座」を設け、強化を図っている。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
レジスタンス	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
レジスタンス2	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶ。	(株)Energy Lab

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会
主　催:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
実施日:令和5年3月14日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:「健康づくりのための身体活動基準2013」および「身体活動指針」改定案と新たな基準／R4年度認定試験評価統括、R5年度認定試験実施総括

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:CPAアカデミック資格講座
主　催:一般社団法人 日本プライバシー認証機構
実施日:令和4年12月6日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:学校法人等における個人情報保護法令と条例、個人情報保護法、個人情報保護規程と個人情報取扱ルール等

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:アスレティックトレーナー専任教員ミーティング
主　催:公益財団法人 日本スポーツ協会
実施日:令和5年8月21日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:アスレティックトレーナー免除適応コース承認基準を満たす内容・申請に関わる重要事項について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2023年度日本トレーニング指導者協会養成校養成機関説明会
主　催:特定非営利法人 日本トレーニング指導者協会
実施日:令和5年4月17日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:トレーニング指導者について、JATI認定トレーニング指導者の構成、資格の特徴、資格保有者への支援、
資格取得後の進路と将来性、日本フィットネス産業協会との提携について

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

スポーツ科学は、運動が好きで入学してきて目的が明確でない学生が他学科より多いとの指摘があった。これに対処すべく、入学前のオープンキャンパスのテーマを自己発見とし、目指す職業を明確にすることに力点を置いた。更に職業観や仕事観を確立するために、入学前オリエンテーション、新入生オリエンテーション、1年前期に業界の仕事理解のための特別講義などを実施した。また、座学では席を固定しているが、後方の席の学生が緊張感をなくしたり、十分に授業についていけない学生が後方の席になる場合があるので、学生一人ひとりの状況に合わせて、適時、席替えをすることのアドバイスを頂いた。学生の状況を考慮して、前期・後期で席替えを実施した。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、その他の意見としては、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

(令和5年4月1日現在)

名　前	所　属	任　期	種　別
村田　栄治	村田整骨院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要　信義	要鍼灸院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本　修二	社会医療法人財団池友会　福岡和白病院 医療連携室　主幹	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (救急救命公務員科)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック　統括部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院　医療部門科長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科)
案西　浩平	医療法人社団　榎香　あんざい歯科クリニック 理事長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科)
今里　安江	医療法人社団　扶洋会　秦病院　看護部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(看護科)
安積　研二	AcroBats株式会社　取締役会長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (スポーツ科学科)
中西　祐介	株式会社サンドラッグ　人事部採用課主任	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科)
谷口　貴陸	スポーツ科学科　卒業生	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	卒業生代表
冨崎　尚美	在校生(鍼灸科2年)保護者	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	保護者代表
稲富　勉	福岡県立香椎高等学校　校長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
戎崎　淳一	福岡市博多区大浜公民館　館長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	地域関係者

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　令和5年6月30日　(前回 令和4年6月30日)

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(　　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年暦　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号 取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL:　http://www.iken.ac.jp/

（別紙様式１－２）

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程スポーツ科学科スポーツトレーナーコース）令和５年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			英会話	国際化に対応できる日常英会話を身につけるとともに、グローバルな感性を養う。	1	30	2	○			○			○	
2	○			コミュニケーションスキル	対人援助職として必要なコミュニケーションを行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
3	○			コンピュータ	ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	
4	○			就職試験対策講座	就職活動で必要となるスキルとマナーを身につけ、就職活動に活かすことができる。	2	30	2	○			○			○	
5	○			機能的解剖学	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
6	○			機能的解剖学２	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
7	○			スポーツ生理学	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
8	○			スポーツ生理学2	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
9	○			発育発達	発達段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
10	○			健康管理概論	健康づくりや疾病予防の基礎的な知識の考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明できる。	2	30	2	○			○			○	
11	○			ボディケア	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
12	○			スポーツ障害	運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。	1	30	2		○		○		○		

13	○			スポーツ医学	スポーツ障害にもならず、内科的疾病を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを習得することができる。	1	30	2	○			○			○	
14	○			スポーツ心理学	運動指導する際に心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、指導に活かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
15	○			体力測定法	体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明できる。	1	30	2		○		○			○	
16	○			スポーツ栄養学	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
17	○			スポーツ栄養学２	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
18	○			スポーツ社会学	スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけまとめることができる。	1	30	2	○			○			○	
19	○			プログラムデザイン	対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、作成できる。	1	30	2	○			○			○	
20	○			スポーツバイオメカニクス	スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。	2	30	2	○			○			○	
21	○			スポーツプログラミング	トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチの理論を説明できるようになる。	2	30	2	○			○			○	
22	○			コーチング論	運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。	2	30	2	○			○			○	
23	○			コンディショニング	身体の調整を行うための技術を身につけ、実際に身体調整ができる。	1	30	2		○		○			○	
24	○			フィットネスエクササイズ	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
25	○			レジスタンス	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
26	○			レジスタンス2	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
27	○			トレーニング科学	各種トレーニングの基礎知識、指導方法を学び、トレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	

28	○			水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導できる。	1	15	1		○		○			○	○
29	○			進路指導	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
30	○			進路指導2	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
31	○			進路指導3	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
32	○			進路指導4	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
33	○			ゼミ	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
34	○			ゼミ2	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
35	○			進級制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
36	○			卒業制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
37			○	業界研修	学習した知識・技術を実践で用い、実践力や社会人基礎力を身につける。	1	60	2			○		○		○	
38			○	インターンシップ	インターンシップを通して職業観を養い、就職活動に活かすことができる。	2	60	2			○		○		○	
39			○	専門実技演習	専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明ができる。	2	30	2		○		○			○	
40			○	専門科目	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
41			○	専門科目2	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
42			○	専門科目3	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	

43			○	専門科目4	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
44			○	イベント・ボランティア活動	学内外で行われる様々なイベントやボランティア活動を通してリーダーシップ、フォローワーシップを体得できる。	1 2	60	2			○		○	○	○	
45			○	健康運動実践指導者基礎講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
46			○	健康運動実践指導者筆記試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○		○		
47			○	健康運動実践指導者実技試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
48			○	アスリートフードマイスター	アスリートのパフォーマンスを最大化するための最適な食プログラムを学び、クライアントに合わせた食事指導ができる。	1	15	1	○			○			○	
49			○	SAQインストラクター レベル1試験対策講座	スピードシステムや解剖学的な視点から知識や動作を獲得し、コーチング視点を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
50			○	幼児体育指導者	子どもに身体を動かす楽しさや素晴らしさを伝えることができる。理論・指導手順・手本・補助を正しく学び、自信を持って指導できるスキルを身につける。	1 2	15	1		○		○			○	
51			○	FTPマットピラティス受験対策講座	身体の内側に意識を集中させ、全身をバランスよく動かしながら、身体の筋肉を鍛えゆがみのない柔軟性のあるしなやかな身体を身につけ、指導できる。	2	30	2		○		○			○	
52			○	ADI筆記試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2	○			○			○	
53			○	ADI実技試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
54			○	スキルアップ Skill Up	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
55			○	トレーニング指導者基礎講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
56			○	トレーニング指導者受験対策講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
57			○	スポーツシューフィッター	足の機能解剖や疾患の評価、治療に関する知識や形態観察とサイジング技術を習得。目的に合った正しいシューズ選びとインソール選択のアドバイスができる。	1	15	1	○			○			○	

58			○	AT受験対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	1	30	2	○			○			○	
59			○	AT受験対策講座2	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
60			○	AT受験対策講座3	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
61			○	AT実技対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2		○		○			○	
62			○	RF受験対策講座	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
63			○	RF受験対策講座2	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
64			○	リトモス受験対策講座	各種のダンス（ヒップホップ、ラテン、ダンス、サルサトン、ジャズ、アラビアン、レゲトン）レッスンができる。	2	30	2		○		○			○	
65			○	健康予防管理専門士受験対策講座	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	1	30	2	○			○			○	
66			○	健康予防管理専門士受験対策講座2	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	2	15	1	○			○			○	
67			○	NSCA受験対策講座	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
68			○	NSCA受験対策講座2	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
69			○	MOSスペシャリスト受験講座	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
70			○	MOSスペシャリスト受験講座2	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
71	○			救急法	人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得できる。	1	30	2	○			○		○		
72	○			トレーニング演習	対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導力を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
73	○			コーディネーショントレーニング	体の動きや力加減を調整する能力を鍛えるトレーニング指導法を学び、実践することができる。	1	30	2		○		○			○	

74	○			ピラティス	体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。	1	30	2		○		○			○	
75	○			ボディケア2	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
76	○			バランストレーニング	バランストレーニングの様々なツールを使用した指導法を学ぶ。指導プログラムを立案できる。	1	30	2		○		○			○	
77	○			フィットネスエクササイズ2	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
78	○			スクールトレーナー対策座学	スクールトレーナー実習のトレーニング計画案や実習マナーを身につけるとともに、スクールトレーナー実習に活かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
79	○			スクールトレーナー対策実技	スクールトレーナー実習のトレーニング計画案や実習マナーを身につけるとともに、スクールトレーナー実習に活かすことができる。	1	30	2		○		○			○	
80	○			スクールトレーナー実習	出身中学校や出身高校の部活動にトレーナーとして参加し、指導力や社会人基礎基礎力を身につけることができる。	1	120	4			○		○		○	
81	○			機能解剖学演習	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。	2	30	2		○		○			○	
82	○			対象者別運動指導	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。	2	30	2		○		○			○	
83		○		トレーニング演習2	対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
84		○		チーム指導法	チームに適したトレーニングメニュー作成から指導方法を学び、チーム全体のコンディショニングを整えることができる。	2	30	2		○		○			○	
85		○		リコンディショニング	スポーツ障害予防として、選手のコンディショニングに関わる様々な技術を学ぶことができる。	2	30	2		○		○			○	
86		○		評価分析	クライントの特徴について評価方法を学び、静的アライメントおよび動作を評価することができる。	2	30	2		○		○			○	
87		○		パーソナル指導法	パーソナル指導の流れやトレーニングメニューの組み立てを実際の症例をもとに学び、クライアントに合わせた指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
88		○		パーソナルセッション	身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、技術を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	

89		○		モーションパルペーション	脊柱と四肢の関節に、正常な関節運動があるかどうか調べる検査方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
90		○		テクニック	カイロプラクティックで用いる様々なテクニックを習得することができる。	2	30	2		○		○			○	
91	○			ファンクショナルトレーニング	身体の構造を理解するとともに身体機能を高めるトレーニング方法を学び、指導できるようになる。	2	30	2		○		○			○	
92		○		トレーニング分析	トレーニング指導者としての知識はもちろん様々なデータを活用し、データに基づき専門性を活かした指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
93		○		トレーニング総論	「トレーニング」「休養」「栄養」について理解し、対象者に応じた適切な計画を立てることができる。	2	30	2	○			○			○	
94		○		パーソナル指導法2	パーソナル指導の流れやトレーニングメニューの組み立てを、実際の症例をもとに学び、クライアントに合わせた指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
95		○		パーソナルセッション2	身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、実践することができる。	2	30	2		○		○			○	
96		○		モーションパルペーション2	脊柱と四肢の関節に、正常な関節運動があるかどうか調べる検査方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
97		○		テクニック2	カイロプラクティックで用いる様々なテクニックを習得することができる。	2	30	2		○		○			○	
合計					97 科目			191 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	２年間の合計修得単位が１１４単位以上の者は、卒業することができる。 ※不合格科目のある者は卒業判定会議により最終決定する。	１学年の学期区分	２期
履修方法：	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和5年6月30日※1
（前回公表年月日　　）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健・スポーツ専門学校	平成14年4月1日	古谷野　潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30 （電話）092-262-2119
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟　邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03-5570-3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ科学科 スポーツビジネスコース	平成16年文部科学省告示第17号	―

学科の目的	「職業人教育を通して社会に貢献」をミッションとし、ビジネスの基本的なスキルやITに関する知識、スポーツ振興に関する仕組みやスポーツ用品の物販、スポーツを活用した観光やイベントのスポーツ興行を学び、お客様のニーズに合わせた提供ができるよう実践的なスキル習得し、スポーツを一生涯の仕事として活躍できる人材を育成する。
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2,730	1,485	1,065	180	0	0
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人の内数	14人	0人	4人の内数	44人の内数	48人の内数

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■夏　季：7月24日～8月20日 ■冬　季：12月23日～1月9日 ■学年末：3月11日～3月31日	卒業・進級条件	1. 進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。 2. 2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化 ②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行委員会 ②ボランティア実行委員会 ③学園祭実行委員会 ④体育大会実行委員会　その他 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） 販売 ■就職指導内容 就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っている。 ■卒業者数　1　人 ■就職希望者数　1　人 ■就職者数　1　人 ■就職率　100　% ■卒業者に占める就職者の割合　100　% ■その他 令和4年度卒業者に関する 令和5年5月31日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年3月31日時点の情報） 資格・検定名｜種｜受験者数｜合格者数 健康運動実践指導者｜③｜1人｜0人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
中途退学の現状	■中途退学者　1 名　■中退率　12.5 % 令和4年4月1日時点において、在学者8名（令和4年4月1日入学者を含む） 令和5年3月31日時点において、在学者7名（令和5年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更：成績不振による学習意欲低下 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の慶成会クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局金計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（無金利・手数料等無、保証人不要） ③長期履修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）		
当該学科のホームページURL	HTTP://www.iken.ac.jp/		

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（創造分野）」は、「学校基本調査」における「創造分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、創造分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。(以下図により、編成意思決定の過程を示す)

(教育課程編成委員会) P(プラン) → (学校・学科) D(実行) → (教育課程編成委員会) C(チェック) → (学校・学科) A(改善) → P(プラン)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
前田 弘	公益財団法人 日本サッカー協会 医学委員会委員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	①
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長・スポーツ科学科 学科長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
河口 育児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

(開催日時)

第1回 令和 5年 5月19日 15:30～17:00

第2回 令和 6年 1月26日 13:00～15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
大手スポーツクラブは、専門技術・知識に加え、マネジメントができる人材の採用を強化しているとの意見を頂いたので、「スポーツ経営学」の授業改善と強化を図った。また、現場を経験する機会をさらに増やした方が良いという意見を頂いたので、従来の実習、金鷲旗柔道大会・玉竜旗剣道大会でのメディカルサポート、サニックスワールドラグビー大会でのメディカルラリーに加え、全国高等学校選抜自転車競技大会のメディカルサポートも新たに実施する。また、介護予防の運動指導のニーズが高まっているとの指摘に応え、「健康運動実践指導者資格」の取得に加え、「健康予防管理専門士資格」取得に向けた「介護予防運動指導員講座」「健康予防管理専門士受験対策講座」を設け、強化を図っている。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
レジスタンス	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
レジスタンス2	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶ。	(株)Energy Lab

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会
主　催:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
実施日:令和5年3月14日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:「健康づくりのための身体活動基準2013」および「身体活動指針」改定案と新たな基準／R4年度認定試験評価統括、R5年度認定試験実施総括

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:CPAアカデミック資格講座
主　催:一般社団法人 日本プライバシー認証機構
実施日:令和4年12月6日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:学校法人等における個人情報保護法令と条例、個人情報保護法、個人情報保護規程と個人情報取扱ルール等

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:アスレティックトレーナー専任教員ミーティング
主　催:公益財団法人 日本スポーツ協会
実施日:令和5年8月21日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:アスレティックトレーナー免除適応コース承認基準を満たす内容・申請に関わる重要事項について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2023年度日本トレーニング指導者協会養成校養成機関説明会
主　催:特定非営利法人 日本トレーニング指導者協会
実施日:令和5年4月17日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:トレーニング指導者について、JATI認定トレーニング指導者の構成、資格の特徴、資格保有者への支援、
資格取得後の進路と将来性、日本フィットネス産業協会との提携ついて

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

スポーツ科学は、運動が好きで入学してきて目的が明確でない学生が他学科より多いとの指摘があった。これに対処すべく、入学前のオープンキャンパスのテーマを自己発見とし、目指す職業を明確にすることに力点を置いた。更に職業観や仕事観を確立するために、入学前オリエンテーション、新入生オリエンテーション、1年前期に業界の仕事理解のための特別講義などを実施した。また、座学では席を固定しているが、後方の席の学生が緊張感をなくしたり、十分に授業についていけない学生が後方の席になる場合があるので、学生一人ひとりの状況に合わせて、適時、席替えをすることのアドバイスを頂いた。学生の状況を考慮して、前期・後期で席替えを実施した。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、その他の意見としては、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

(令和5年4月1日現在)

名　前	所　属	任　期	種　別
村田　栄治	村田整骨院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要　信義	要鍼灸院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本　修二	社会医療法人財団池友会　福岡和白病院 医療連携室　主幹	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (救急救命公務員科)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック　統括部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院　医療部門科長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科)
案西　浩平	医療法人社団　桜香　あんざい歯科クリニック 理事長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科)
今里　安江	医療法人社団　扶洋会　桑病院　看護部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(看護科)
安積　研二	AcroBats株式会社　取締役会長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (スポーツ科学科)
中西　祐介	株式会社サンドラッグ　人事部採用課主任	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科)
谷口　貴隆	スポーツ科学科　卒業生	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	卒業生代表
髙崎　尚美	在校生(鍼灸科2年)保護者	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	保護者代表
稲富　勉	福岡県立香椎高等学校　校長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
戎崎　淳一	福岡市博多区大浜公民館　館長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	地域関係者

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　令和5年6月30日　(前回 令和4年6月30日)

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(　　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年歴　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号 取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL:　http://www.iken.ac.jp/

（別紙様式１－２）

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程スポーツ科学科スポーツビジネスコース）令和５年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			英会話	国際化に対応できる日常英会話を身につけるとともに、グローバルな感性を養う。	1	30	2	○			○			○	
2	○			コミュニケーションスキル	対人援助職として必要なコミュニケーションを行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
3	○			コンピュータ	ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	
4	○			就職試験対策講座	就職活動で必要となるスキルとマナーを身につけ、就職活動に活かすことができる。	2	30	2	○			○			○	
5	○			機能的解剖学	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
6	○			機能的解剖学2	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
7	○			スポーツ生理学	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
8	○			スポーツ生理学2	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
9	○			発育発達	発達段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
10	○			健康管理概論	健康づくりや疾病予防の基礎的な知識の考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明できる。	2	30	2	○			○			○	
11	○			ボディケア	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
12	○			スポーツ障害	運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。	1	30	2		○		○		○		
13	○			スポーツ医学	スポーツ障害にもならず、内科的疾病を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを習得することができる。	1	30	2	○			○			○	

14	○			スポーツ心理学	運動指導する際に心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、指導に活かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
15	○			体力測定法	体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明できる。	1	30	2		○		○			○	
16	○			スポーツ栄養学	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
17	○			スポーツ栄養学２	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
18	○			スポーツ社会学	スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけまとめることができる。	1	30	2	○			○			○	
19	○			プログラムデザイン	対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、作成できる。	1	30	2	○			○			○	
20	○			スポーツバイオメカニクス	スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。	2	30	2	○			○			○	
21	○			スポーツプログラミング	トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチの理論を説明できるようになる。	2	30	2	○			○			○	
22	○			コーチング論	運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。	2	30	2	○			○			○	
23	○			コンディショニング	身体の調整を行うための技術を身につけ、実際に身体調整ができる。	1	30	2		○		○			○	
24	○			フィットネスエクササイズ	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
25	○			レジスタンス	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
26	○			レジスタンス2	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
27	○			トレーニング科学	各種トレーニングの基礎知識、指導方法を学び、トレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
28	○			水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導できる。	1	15	1		○		○			○	○
29	○			進路指導	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		

30	○			進路指導2	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
31	○			進路指導3	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
32	○			進路指導4	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
33	○			ゼミ	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
34	○			ゼミ2	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
35	○			進級制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
36	○			卒業制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
37			○	業界研修	学習した知識・技術を実践で用い、実践力や社会人基礎力を身につける。	1	60	2			○		○		○	
38			○	インターンシップ	インターンシップを通して職業観を養い、就職活動に活かすことができる。	2	60	2			○		○		○	
39			○	専門実技演習	専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明ができる。	2	30	2		○		○			○	
40			○	専門科目	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
41			○	専門科目2	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
42			○	専門科目3	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
43			○	専門科目4	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
44			○	イベント・ボランティア活動	学内外で行われる様々なイベントやボランティア活動を通してリーダーシップ、フォローワーシップを体得できる。	1 2	60	2			○		○	○	○	
45			○	健康運動実践指導者基礎講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○			○	

46			○	健康運動実践指導者筆記試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○		○		
47			○	健康運動実践指導者実技試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
48			○	アスリートフードマイスター	アスリートのパフォーマンスを最大化するための最適な食プログラムを学び、クライアントに合わせた食事指導ができる。	1	15	1	○			○			○	
49			○	SAQインストラクター レベル1試験対策講座	スピードシステムや解剖学的な視点から知識や動作を獲得し、コーチング視点を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
50			○	幼児体育指導者	子どもに身体を動かす楽しさや素晴らしさを伝えることができる。理論・指導手順・手本・補助を正しく学び、自信を持って指導できるスキルを身につける。	1 2	15	1		○		○			○	
51			○	FTPマットピラティス受験対策講座	身体の内側に意識を集中させ、全身をバランスよく動かしながら、身体の筋肉を鍛えゆがみのない柔軟性のあるしなやかな身体を身につけ、指導できる。	2	30	2		○		○			○	
52			○	ADI筆記試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2	○			○			○	
53			○	ADI実技試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
54			○	スキルアップ Skill Up	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
55			○	トレーニング指導者基礎講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
56			○	トレーニング指導者受験対策講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
57			○	スポーツシューフィッター	足の機能解剖や疾患の評価、治療に関する知識や形態観察とサイジング技術を習得。目的に合った正しいシューズ選びとインソール選択のアドバイスができる。	1	15	1	○			○			○	
58			○	AT受験対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	1	30	2	○			○			○	
59			○	AT受験対策講座2	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
60			○	AT受験対策講座3	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
61			○	AT実技対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2		○		○			○	

62			○	RF受験対策講座	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
63			○	RF受験対策講座2	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
64			○	リトモス受験対策講座	各種のダンス（ヒップホップ、ラテン、ダンス、サルサトン、ジャズ、アラビアン、レゲトン）レッスンができる。	2	30	2		○		○			○	
65			○	健康予防管理専門士受験対策講座	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	1	30	2	○			○			○	
66			○	健康予防管理専門士受験対策講座2	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	2	15	1	○			○			○	
67			○	NSCA受験対策講座	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
68			○	NSCA受験対策講座2	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
69			○	MOSスペシャリスト受験講座	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
70			○	MOSスペシャリスト受験講座2	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
71	○			救急法	人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得できる。	1	30	2	○			○		○		
72	○			コンピュータ	ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	

73	○			スポーツビジネス	「スポーツによって人が動く仕組みづくり」や「スポーツへの参画率を高める仕組みづくり」について説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
74	○			スポーツビジネス2	「スポーツによって人が動く仕組みづくり」や「スポーツへの参画率を高める仕組みづくり」について説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
75	○			イベント運営論	イベントのプランニングから制作物、当日までの企画運営について学び、イベントを運営することができる。	1	30	2	○			○			○	
76	○			デザイン	デザインに関する基礎を学び、ホームページ・広告のデザイン基礎を身につけることができる。	1	60	4		○		○			○	
77	○			映像制作	映像制作に関わる一連の知識・技術を習得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。	1	60	4		○		○			○	
78	○			イベント企画	資料作成技術、プレゼンテーション能力、ビジネススキルを身につけることができる。	2	30	2	○			○			○	
79	○			マーケティング	マーケティングの知識を習得し、実践的なマーケティングにおいて解決・対応できる力を身につけることができる。	2	30	2	○			○			○	
80	○			WEBマーケティング	日々変化する情報技術を知り、インターネットを用いたマーケティングへの理解を深め、実践することができる。	2	30	2	○			○			○	
81	○			デザイン2	デザインに関する基礎を学び、ホームページ・広告のデザイン基礎を身につけることができる。	2	60	4		○		○			○	
82	○			映像制作２	映像制作に関わる一連の知識・技術を習得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。	2	60	4		○		○			○	
83	○			マーケティング２	マーケティングの知識を習得し、実践的なマーケティングにおいて解決・対応できる力を身につけることができる。	2	30	2	○			○			○	
84	○			WEBマーケティング2	日々変化する情報技術を知り、インターネットを用いたマーケティングへの理解を深め、実践することができる。	2	30	2	○			○			○	
85	○			映像制作３	映像制作に関わる一連の知識・技術を習得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。	2	60	4		○		○			○	
合計					85 科目			175 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	２年間の合計修得単位が１１４単位以上の者は、卒業することができる。 ※不合格科目のある者は卒業判定会議により最終決定する。	１学年の学期区分	２期
履修方法：	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和5年6月30日※1
（前回公表年月日　　）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健・スポーツ専門学校	平成14年4月1日	古谷野　潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30 （電話）092-262-2119
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟　邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03-5576-3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ科学科 ボディメイキングトレーナーコース	平成16年文部科学省告示第17号	―

学科の目的	「職業人教育を通して社会に貢献」をミッションとし、クライアントの要望に応えることのできるパーソナルトレーナーとして必要な解剖学から栄養学などの幅広い理論に基づいた適切な指導や安全な運動プログラムなどの専門知識や技術の提供だけでなく、怪我予防としてアライメントや身体機能の高めるコンディショニング方法やクライアントと共有できるような人間性が身につけられる人材を育成する。
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2,655	1,365	1,110	180	0	0

単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人の内数	17人	0人	4人	44人	48人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■夏　季：7月24日～8月20日 ■冬　季：12月23日～1月9日 ■学年末：3月11日～3月31日	卒業・進級条件	1. 進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。 2. 2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化 ②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企画プロジェクト実行委員会 ②ボランティア実行委員会 ③学園祭実行委員会 ④体育大会実行委員会　その他 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） スポーツクラブ、パーソナルジム、健康産業スポーツ施設 ■就職指導内容 就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っている。 ■卒業者数　9　人 ■就職希望者数　8　人 ■就職者数　8　人 ■就職率　100　% ■卒業者に占める就職者の割合 ：　88.9　% ■その他 令和4年度卒業者に関する 令和5年5月31日時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年3月31日時点の情報） 資格・検定名 / 種 / 受験者数 / 合格者数 健康運動実践指導者 / ③ / 5人 / 3人 NSCA－CPT / ③ / 2人 / 2人 FTPマットピラティス / ③ / 1人 / 1人 トレーニング指導者 / ③ / 1人 / 1人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
中途退学の現状	■中途退学者　1 名　■中退率　4.8 % 令和４年４月１日時点において、在学者２１名（令和１４年４月１日入学者を含む） 令和５年３月３１日時点において、在学者２０名（令和１５年３月３１日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の厚成金クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（無金利・手数料等無、保証人不要） ③長期履修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）		
当該学科のホームページURL	HTTP://www.iken.ac.jp/		

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。
(以下図により、編成意思決定の過程を示す)

(教育課程編成委員会) P(プラン) → (学校・学科) D(実行) → (教育課程編成委員会) C(チェック) → (学校・学科) A(改善) → P(プラン)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
前田 弘	公益財団法人 日本サッカー協会 医学委員会委員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	①
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長・スポーツ科学科 学科長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
河口 青児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

(開催日時)

第1回 令和 5年 5月19日 15:30～17:00

第2回 令和 6年 1月26日 13:00～15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
大手スポーツクラブは、専門技術・知識に加え、マネジメントができる人材の採用を強化しているとの意見を頂いたので、「スポーツ経営学」の授業改善と強化を図った。また、現場を経験する機会をさらに増やした方が良いという意見を頂いたので、従来の実習、金鷲旗柔道大会・玉竜輝剣道大会でのメディカルサポート、サニックスワールドラグビー大会でのメディカルラリーに加え、全国高等学校選抜自転車競技大会のメディカルサポートも新たに実施する。また、介護予防の運動指導のニーズが高まっているとの指摘に応え、「健康運動実践指導者資格」の取得に加え、「健康予防管理専門士資格」取得に向けた「介護予防運動指導員講座」「健康予防管理専門士受験対策講座」を設け、強化を図っている。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
レジスタンス	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
レジスタンス2	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶ。	(株)Energy Lab

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会
主　催:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
実施日:令和5年3月14日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:「健康づくりのための身体活動基準2013」および「身体活動指針」改定案と新たな基準／R4年度認定試験評価統括、R5年度認定試験実施総括

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:CPAアカデミック資格講座
主　催:一般社団法人 日本プライバシー認証機構
実施日:令和4年12月6日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:学校法人等における個人情報保護法令と条例、個人情報保護法、個人情報保護規程と個人情報取扱ルール等

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:アスレティックトレーナー専任教員ミーティング
主　催:公益財団法人 日本スポーツ協会
実施日:令和5年8月21日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:アスレティックトレーナー免除適応コース承認基準を満たす内容・申請に関わる重要事項について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2023年度日本トレーニング指導者協会養成校養成機関説明会
主　催:特定非営利法人 日本トレーニング指導者協会
実施日:令和5年4月17日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:トレーニング指導者について、JATI認定トレーニング指導者の構成、資格の特徴、資格保有者への支援、
資格取得後の進路と将来性、日本フィットネス産業協会との提携ついて

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

スポーツ科学は、運動が好きで入学してきて目的が明確でない学生が他学科より多いとの指摘があった。これに対処すべく、入学前のオープンキャンパスのテーマを自己発見とし、目指す職業を明確にすることに力点を置いた。更に職業観や仕事観を確立するために、入学前オリエンテーション、新入生オリエンテーション、1年前期に業界の仕事理解のための特別講義などを実施した。また、座学では席を固定しているが、後方の席の学生が緊張感をなくしたり、十分に授業についていけない学生が後方の席になる場合があるので、学生一人ひとりの状況に合わせて、適時、席替えをすることのアドバイスを頂いた。学生の状況を考慮して、前期・後期で席替えを実施した。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、その他の意見としては、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

(令和5年4月1日現在)

名　前	所　属	任　期	種　別
村田　栄治	村田整骨院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要　信義	要鍼灸院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本　修二	社会医療法人財団池友会　福岡和白病院 医療連携室　主幹	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (救急救命公務員科)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック　統括部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院　医療部門科長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科)
案西　浩平	医療法人社団　桜香　あんざい歯科クリニック 理事長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科)
今里　安江	医療法人社団　扶洋会　桑病院　看護部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(看護科)
安積　研二	AcroBats株式会社　取締役会長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (スポーツ科学科)
中西　祐介	株式会社サンドラッグ　人事部採用課主任	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科)
谷口　貴隆	スポーツ科学科　卒業生	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	卒業生代表
冨崎　尚美	在校生(鍼灸科2年)保護者	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	保護者代表
稲富　勉	福岡県立香椎高等学校　校長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
戎崎　淳一	福岡市博多区大浜公民館　館長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	地域関係者

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　令和5年6月30日　(前回 令和4年6月30日)

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(　　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年歴　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号 取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL:　http://www.iken.ac.jp/

（別紙様式１－２）

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程スポーツ科学科ボディメイキングトレーナーコース）令和５年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			英会話	国際化に対応できる日常英会話を身につけるとともに、グローバルな感性を養う。	1	30	2	○			○			○	
2	○			コミュニケーションスキル	対人援助職として必要なコミュニケーションを行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
3	○			コンピュータ	ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	
4	○			就職試験対策講座	就職活動で必要となるスキルとマナーを身につけ、就職活動に活かすことができる。	2	30	2	○			○			○	
5	○			機能的解剖学	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
6	○			機能的解剖学2	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
7	○			スポーツ生理学	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
8	○			スポーツ生理学2	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
9	○			発育発達	発達段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
10	○			健康管理概論	健康づくりや疾病予防の基礎的な知識の考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明できる。	2	30	2	○			○			○	
11	○			ボディケア	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
12	○			スポーツ障害	運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。	1	30	2		○		○		○		

13	○			スポーツ医学	スポーツ障害にもならず、内科的疾病を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを習得することができる。	1	30	2	○			○			○	
14	○			スポーツ心理学	運動指導する際に心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、指導に活かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
15	○			体力測定法	体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明できる。	1	30	2		○		○			○	
16	○			スポーツ栄養学	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
17	○			スポーツ栄養学２	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
18	○			スポーツ社会学	スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけまとめることができる。	1	30	2	○			○			○	
19	○			プログラムデザイン	対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、作成できる。	1	30	2	○			○			○	
20	○			スポーツバイオメカニクス	スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。	2	30	2	○			○			○	
21	○			スポーツプログラミング	トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチの理論を説明できるようになる。	2	30	2	○			○			○	
22	○			コーチング論	運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。	2	30	2	○			○			○	
23	○			コンディショニング	身体の調整を行うための技術を身につけ、実際に身体調整ができる。	1	30	2		○		○			○	
24	○			フィットネスエクササイズ	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
25	○			レジスタンス	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
26	○			レジスタンス2	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
27	○			トレーニング科学	各種トレーニングの基礎知識、指導方法を学び、トレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	

28	○			水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導できる。	1	15	1		○		○			○	○
29	○			進路指導	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
30	○			進路指導2	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
31	○			進路指導3	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
32	○			進路指導4	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
33	○			ゼミ	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
34	○			ゼミ2	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
35	○			進級制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
36	○			卒業制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
37			○	業界研修	学習した知識・技術を実践で用い、実践力や社会人基礎力を身につける。	1	60	2			○		○		○	
38			○	インターンシップ	インターンシップを通して職業観を養い、就職活動に活かすことができる。	2	60	2			○		○		○	
39			○	専門実技演習	専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明ができる。	2	30	2		○		○			○	
40			○	専門科目	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
41			○	専門科目2	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
42			○	専門科目3	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	

43			○	専門科目4	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
44			○	イベント・ボランティア活動	学内外で行われる様々なイベントやボランティア活動を通してリーダーシップ、フォローワーシップを体得できる。	1 2	60	2			○		○	○	○	
45			○	健康運動実践指導者基礎講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
46			○	健康運動実践指導者筆記試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○		○		
47			○	健康運動実践指導者実技試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
48			○	アスリートフードマイスター	アスリートのパフォーマンスを最大化するための最適な食プログラムを学び、クライアントに合わせた食事指導ができる。	1	15	1	○			○			○	
49			○	SAQインストラクター レベル1試験対策講座	スピードシステムや解剖学的な視点から知識や動作を獲得し、コーチング視点を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
50			○	幼児体育指導者	子どもに身体を動かす楽しさや素晴らしさを伝えることができる。理論・指導手順・手本・補助を正しく学び、自信を持って指導できるスキルを身につける。	1 2	15	1		○		○			○	
51			○	FTPマットピラティス受験対策講座	身体の内側に意識を集中させ、全身をバランスよく動かしながら、身体の筋肉を鍛えゆがみのない柔軟性のあるしなやかな身体を身につけ、指導できる。	2	30	2		○		○			○	
52			○	ADI筆記試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2	○			○			○	
53			○	ADI実技試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
54			○	スキルアップ Skill Up	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
55			○	トレーニング指導者基礎講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
56			○	トレーニング指導者受験対策講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
57			○	スポーツシューフィッター	足の機能解剖や疾患の評価、治療に関する知識や形態観察とサイジング技術を習得。目的に合った正しいシューズ選びとインソール選択のアドバイスができる。	1	15	1	○			○			○	

58			○	AT受験対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	1	30	2	○			○			○	
59			○	AT受験対策講座2	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
60			○	AT受験対策講座3	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
61			○	AT実技対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2		○		○			○	
62			○	RF受験対策講座	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
63			○	RF受験対策講座2	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
64			○	リトモス受験対策講座	各種のダンス（ヒップホップ、ラテン、ダンス、サルサトン、ジャズ、アラビアン、レゲトン）レッスンができる。	2	30	2		○		○			○	
65			○	健康予防管理専門士受験対策講座	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	1	30	2	○			○			○	
66			○	健康予防管理専門士受験対策講座2	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	2	15	1	○			○			○	
67			○	NSCA受験対策講座	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
68			○	NSCA受験対策講座2	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
69			○	MOSスペシャリスト受験講座	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
70			○	MOSスペシャリスト受験講座2	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
71	○			救急法	人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得できる。	1	30	2	○			○		○		
72	○			実践術	各部位のトレーニングテクニックを実際に体感することで理解を深め、指導力を高めることができる。	1	30	2		○		○			○	
73	○			ピラティス	体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。	1	30	2		○		○			○	

74	○			ウエイトコントロール	クライアント一人ひとりの目的（増量・減量）や年齢代に合せた食事のアドバイスやトレーニングの指導方法を習得することができる。	1	30	2	○			○			○	
75	○			実践術2	各部位のトレーニングテクニックを実際に体感することで理解を深め、指導力を高めることができる。	1	30	2		○		○			○	
76	○			トレーニング演習	対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導力を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
77	○			ボディケア2	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
78	○			バランストレーニング	バランストレーニングの様々なツールを使用した指導法を学ぶ。指導プログラムを立案できる。	1	30	2		○		○			○	
79	○			フィットネスエクササイズ2	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
80	○			機能解剖学演習	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。	2	30	2		○		○			○	
81	○			実践術3	各部位のトレーニングテクニックを実際に体感することで理解を深め、指導力を高めることができる。	2	30	2		○		○			○	
82	○			パーソナル指導法	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
83	○			パーソナルセッション	身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、技術を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
84	○			スポーツ栄養学3	運動時における栄養摂取サプリメントについて学ぶとともに、アスリートの食育法を習得することができる。	2	30	2	○			○			○	
85	○			トレーニング総論	「トレーニング」「休養」「栄養」について理解し、対象者に応じた適切な計画を立てることができる。	2	30	2	○			○			○	
86	○			トレーニング演習2	対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導力を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
87	○			パーソナル指導法2	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
88	○			パーソナルセッション2	身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、実践することができる。	2	30	2		○		○			○	
合計					88 科目			171 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等

卒業要件：	２年間の合計修得単位が１１４単位以上の者は、卒業することができる。 ※不合格科目のある者は卒業判定会議により最終決定する。	１学年の学期区分	２期
履修方法：	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和5年6月30日※1

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
福岡医健・スポーツ専門学校	平成14年4月1日	古谷野　潔	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30 （電話）092-262-2119
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟　邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6-16-2 （電話）03-5578-3311

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	スポーツ科学科 トータルビューティコース	平成16年文部科学省告示第17号	―

学科の目的	「職業人教育を通して社会に貢献」をミッションとし、知識・技術の提供だけでなく、解剖学から栄養学などの理論に基づいた安全な運動プログラムの計画や女性らしいしなやかなカラダづくりなど、一人ひとりに合った理想の身体に導くことができる指導ができるクライアントが望むパーソナルトレーナーを育成する。
認定年月日	平成 26 年 3 月 31 日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2,685	1,395	1,110	180		

単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人の内数	6人	0人	4人の内数	44人の内数	48人の内数

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、試験の成績、レポート・課題の成績等を総合的に勘案し、以下の4段階評価とする。
長期休み	■夏　季：7月24日～8月20日 ■冬　季：12月23日～1月9日 ■学年末：3月11日～3月31日	卒業・進級条件	1. 進級認定：各年次の合計修得単位が57単位以上の者は進級することができる。 2. 2年間の合計修得単位が114単位以上の者は卒業することができる。
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 ①担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との密接な連携強化 ②成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施	課外活動	■課外活動の種類 ①各種企業プロジェクト実行委員会 ②ボランティア実行委員会 ③学園祭実行委員会 ④体育大会実行委員会　その他 ■サークル活動：　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） ■就職指導内容 就職を専門に支援するキャリアセンターを設置し、一人ひとりの希望に沿って、履歴書指導、面接指導、求人獲得、企業見学・採用試験の設定から内定獲得交渉等を個別に行っている。また、仮に卒業式までに就職が決まらなくても、全ての学生の就職が決まるまで、卒業後も支援を行っている。 ■卒業者数　0　人 ■就職希望者数　0　人 ■就職者数　0　人 ■就職率　―　% ■卒業者に占める就職者の割合 ：　―　% ■その他 令和4年度卒業者に関する 令和5年5月31日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年3月31日時点の情報） 資格・検定名 / 種 / 受験者数 / 合格者数 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄 （例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等
中途退学の現状	■中途退学者　0 名　■中退率　0.0 % 令和４年４月１日時点において、在学者０名（令和４年４月１日入学者を含む） 令和５年３月３１日時点において、在学者０名（令和５年３月３１日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 なし。 ■中退防止・中退者支援のための取組 ①成績不振者に対する個別指導強化及び補習の実施②付属の慶成会クリニックによる健康管理（受診料実費負担なし・薬代負担なし）③進路変更希望者に対しては、担任と共に専任の進路変更委員が支援を行う。本人の希望に基づき滋慶学園グループ内への転校・転科が可能④担任による定期的・継続的個別面談の実施及び保護者との連携強化⑤常駐の臨床心理士（カウンセラー）による早期介入支援（メンタルサポート）⑥学費や経済面のサポートは、事務局会計課・専任のファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当がきめ細かな支援を行っている		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ①滋慶奨学金（在校生対象の貸与型奨学金・無利子） ②学費分割納入制度（無金利・手数料等無、保証人不要） ③長期履修制度（留年に伴う学費免除） ■専門実践教育訓練給付：非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）		
当該学科のホームページURL	HTTP://www.iken.ac.jp/		

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体の役職員及び実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業の役職員が参画する教育課程編成委員会を年2回実施し、業界の動向や変化、それに伴うニーズや必要な人材像を把握すると共に、実施している授業やカリキュラム等を各委員に検証してもらいアドバイスや意見を頂く。また、教員による実習先訪問や就職担当による企業訪問を通して更なる情報収集を図る。それらを十分に生かしつつ、カリキュラムや授業方法の改善、授業科目の開設等を図り、実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程の編成は、理事会の下に設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮したうえで、学科会議において編成を行うものとし、委員会の適切な運営は理事会が担保することになっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営する。(以下図により、編成意思決定の過程を示す)

(教育課程編成委員会) P(プラン) → (学校・学科) D(実行) → (教育課程編成委員会) C(チェック) → (学校・学科) A(改善) → P(プラン)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
前田 弘	公益財団法人 日本サッカー協会 医学委員会委員	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	①
安積 研二	AcroBats株式会社 取締役会長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
土本 佳正	福岡医健・スポーツ専門学校 事務局長・スポーツ科学科 学科長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校 学校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
河口 貴児	福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・教務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－
松原 敏昭	福岡医健・スポーツ専門学校 教務事務部長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回開催し、第1回目を毎年5月、第2回目を翌年1月に実施している。今年度開催(予定)日時は以下の通り。また、委員会欠席委員に対しては個別に意見聴取を行うなど、必要に応じて、適宜適切に分科会等を開催する場合がある。

(開催日時)

第1回 令和 5年 5月19日 15:30～17:00

第2回 令和 6年 1月26日 13:00～15:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
大手スポーツクラブは、専門技術・知識に加え、マネジメントができる人材の採用を強化しているとの意見を頂いたので、「スポーツ経営学」の授業改善と強化を図った。また、現場を経験する機会をさらに増やした方が良いという意見を頂いたので、従来の実習、金鷲旗柔道大会・玉竜輝剣道大会でのメディカルサポート、サニックスワールドラグビー大会でのメディカルラリーに加え、全国高等学校選抜自転車競技大会のメディカルサポートも新たに実施する。また、介護予防の運動指導のニーズが高まっているとの指摘に応え、「健康運動実践指導者資格」の取得に加え、「健康予防管理専門士資格」取得に向けた「介護予防運動指導員講座」「健康予防管理専門士受験対策講座」を設け、強化を図っている。また、学科を問わず全学科に共通した意見として、各委員からは、「コミュニケーション力の強化」「仕事に対する身構え・気構え・心構えといったプロ意識の確立」「社会的人格形成」「自主性・主体性・積極性の育成」「仕事観・職業観の確立による早期退職の防止」「基礎力と柔軟な応用力の育成」など、多くの意見を頂いた。これらを基に、コミュニケーションスキル検定の導入や授業内容・方法の改善を図ると共に、授業以外の教科指導、実習指導、生活指導、就職指導、国試対策指導等あらゆる機会をとらえて、キャリア教育の充実に向けた検討・環境整備に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、「学校と業界が協力をして、業界が求める即戦力の人材を育成し、業界に送り出す」という「産学共同教育」を開校以来実践してきた。即戦力としての職業人教育を行うため、業界と連携して専門知識・技術、人間力を有した人材育成を行っている。このため、特に実習・演習科目に於いては、現場の第一線で活躍するプロに非常勤講師を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施及び達成度評価を行っている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業等と講師業務委託契約を交わした上で、現場の第一線のプロが非常勤講師として授業を行っている。学校と非常勤講師が協議して作成したシラバスを基に授業は進行され、成績評価は毎授業での到達目標達成度及び学期ごとに行う定期試験の結果をもって総合的に評価される。また、担当非常勤講師と学科専任教員は常に連携を密にし、情報を共有しながら授業運営に係る問題解決や授業改善に協力して取り組んでいる。更に、業界研修・臨床実習等を実施し、企業等の指導担当者の下、現場体験を深め即戦力としての更なる知識・技術の習得に努めている。実習実施前の協議を徹底すると共に、教員による実習巡回を通して指導担当者と教員の連携・情報共有を図り、協力体制を強化して教育効果の向上に努めている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
レジスタンス	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
レジスタンス2	トレーニングを実際に指導するうえで必要不可欠な基礎知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導方法も体得する	(株)ライコ
水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶ。	(株)Energy Lab

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園の定める教職員規定において、専門技術・知識の向上、授業内容・教育技法の改善、クラス運営力の向上、マネジメント能力や指導力の向上などを研修の目的として、職歴や能力・経験、職責、担当業務に合わせて、定期的・継続的に業界と連携して研修を実施している。企業・業界団体等が開催する研修会や講習会に専任教員を計画的に参加させ、業界の変化やニーズを的確に把握すると共に、最新の技術・知識の習得に努めている。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:健康運動実践指導者養成校養成講座主任教員研修会
主　催:公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
実施日:令和5年3月14日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:「健康づくりのための身体活動基準2013」および「身体活動指針」改定案と新たな基準／R4年度認定試験評価統括、R5年度認定試験実施総括

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:CPAアカデミック資格講座
主　催:一般社団法人 日本プライバシー認証機構
実施日:令和4年12月6日
参加者:スポーツ科学科専任教員1名
内　容:学校法人等における個人情報保護法令と条例、個人情報保護法、個人情報保護規程と個人情報取扱ルール等

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:アスレティックトレーナー専任教員ミーティング
主　催:公益財団法人 日本スポーツ協会
実施日:令和5年8月21日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:アスレティックトレーナー免除適応コース承認基準を満たす内容・申請に関わる重要事項について

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:2023年度日本トレーニング指導者協会養成校養成機関説明会
主　催:特定非営利法人 日本トレーニング指導者協会
実施日:令和5年4月17日
参加者:スポーツ科学科専任教員2名
内　容:トレーニング指導者について、JATI認定トレーニング指導者の構成、資格の特徴、資格保有者への支援、
資格取得後の進路と将来性、日本フィットネス産業協会との提携ついて

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者、地域住民、高等学校、企業により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価して、様々な角度からアドバイスや支援を行うことを通して、学校運営の改善に活用することを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

スポーツ科学は、運動が好きで入学してきて目的が明確でない学生が他学科より多いとの指摘があった。これに対処すべく、入学前のオープンキャンパスのテーマを自己発見とし、目指す職業を明確にすることに力点を置いた。更に職業観や仕事観を確立するために、入学前オリエンテーション、新入生オリエンテーション、1年前期に業界の仕事理解のための特別講義などを実施した。また、座学では席を固定しているが、後方の席の学生が緊張感をなくしたり、十分に授業についていけない学生が後方の席になる場合があるので、学生一人ひとりの状況に合わせて、適時、席替えをすることのアドバイスを頂いた。学生の状況を考慮して、前期・後期で席替えを実施した。また、各委員より各項目概ね「評価4」の評価を頂いたが、その他の意見としては、学科を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「資格の合格率と共に受験率の更なる向上を期待する」「「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。リーダー会議、学科会議、キャリアセンター会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

(令和5年4月1日現在)

名　前	所　属	任　期	種　別
村田　栄治	村田整骨院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(柔道整復科)
要　信義	要鍼灸院　院長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(鍼灸科)
橋本　修二	社会医療法人財団池友会　福岡和白病院 医療連携室　主幹	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (救急救命公務員科)
福田　智	医療法人　せと山荘クリニック　統括部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(理学療法科)
丸田　淳司	医療法人誠和会　牟田病院　医療部門科長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(作業療法科)
案西　浩平	医療法人社団　桜香　あんざい歯科クリニック 理事長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(歯科衛生士科)
今里　安江	医療法人社団　扶洋会　泰病院　看護部長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(看護科)
安積　研二	AcroBats株式会社　取締役会長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員 (スポーツ科学科)
中西　祐介	株式会社サンドラッグ　人事部採用課主任	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	企業等委員(薬業科)
谷口　貴隆	スポーツ科学科　卒業生	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	卒業生代表
宮崎　尚美	在校生(鍼灸科2年)保護者	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	保護者代表
稲富　勉	福岡県立香椎高等学校　校長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	高等学校関係者
戎崎　淳一	福岡市博多区大浜公民館　館長	令和5年4月1日～　令和6年3月31日(1年)	地域関係者

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期　令和5年6月30日　(前回 令和4年6月30日)

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(　　)

http://www.iken.ac.jp/

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年定める事業計画の実行方針で提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学率の低減、就職100%、国家試験合格率100%等)を具現化するために、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。その為にも、学校の方針や考え方に加え、様々な詳細情報を十分に理解して頂いた上で、意見やアドバイス、支援を頂くことが重要となる。企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、業界関係者である非常勤講師との講師会、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、企業とタイアップして行うイベント等あらゆる機会を活用して、積極的に情報の提供を行っている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名　所在地　連絡先　学校の沿革　建学の理念　学校安全関連　保健対策
(2)各学科等の教育	受入方法　定員　在校生数　カリキュラム　学年歴　シラバス　卒業進級判定基準　取得する称号　取得を目指す資格　資格試験合格実績　主な就職先
(3)教職員	教職員数　学校組織図　教員の実績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育ロードマップ　業界研修　キャリアセンター　就職指導
(5)様々な教育活動・教育環境	設備紹介　海外実学研修　部活動
(6)学生の生活支援	中途退学防止支援　就職支援　健康支援　学費相談　進路変更支援　支援機関　支援制度
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧　奨学金　教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生支援　留学生の受入れ状況　外国の学校との交流状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 ホームページ　広報誌等の刊行物

URL: http://www.iken.ac.jp/

（別紙様式１－２）

授業科目等の概要

	（文化・教養専門課程スポーツ科学科トータルビューティーコース）令和５年度																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			英会話	国際化に対応できる日常英会話を身につけるとともに、グローバルな感性を養う。	1	30	2	○			○			○	
2	○			コミュニケーションスキル	対人援助職として必要なコミュニケーションを行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
3	○			コンピュータ	ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を習得する。	1	30	2		○		○			○	
4	○			就職試験対策講座	就職活動で必要となるスキルとマナーを身につけ、就職活動に活かすことができる。	2	30	2	○			○			○	
5	○			機能的解剖学	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
6	○			機能的解剖学2	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明ができる。	1	30	2	○			○			○	
7	○			スポーツ生理学	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
8	○			スポーツ生理学2	運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、教育によって起こる身体的機能変化を理解できる。	1	30	2	○			○			○	
9	○			発育発達	発達段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。	1	30	2	○			○			○	
10	○			健康管理概論	健康づくりや疾病予防の基礎的な知識の考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明できる。	2	30	2	○			○			○	
11	○			ボディケア	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
12	○			スポーツ障害	運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。	1	30	2		○		○		○		

13	○			スポーツ医学	スポーツ障害にもならず、内科的疾病を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを習得することができる。	1	30	2	○			○			○	
14	○			スポーツ心理学	運動指導する際に心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、指導に活かすことができる。	1	30	2	○			○			○	
15	○			体力測定法	体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明できる。	1	30	2		○		○			○	
16	○			スポーツ栄養学	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
17	○			スポーツ栄養学２	一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。	1	30	2	○			○			○	
18	○			スポーツ社会学	スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけまとめることができる。	1	30	2	○			○			○	
19	○			プログラムデザイン	対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、作成できる。	1	30	2	○			○			○	
20	○			スポーツバイオメカニクス	スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。	2	30	2	○			○			○	
21	○			スポーツプログラミング	トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチの理論を説明できるようになる。	2	30	2	○			○			○	
22	○			コーチング論	運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。	2	30	2	○			○			○	
23	○			コンディショニング	身体の調整を行うための技術を身につけ、実際に身体調整ができる。	1	30	2		○		○			○	
24	○			フィットネスエクササイズ	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
25	○			レジスタンス	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
26	○			レジスタンス2	トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導ができる。	1	30	2		○		○			○	○
27	○			トレーニング科学	各種トレーニングの基礎知識、指導方法を学び、トレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	

28	○			水中運動指導法	水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導できる。	1	15	1		○		○			○	○
29	○			進路指導	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
30	○			進路指導2	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	1	30	2		○		○		○		
31	○			進路指導3	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
32	○			進路指導4	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考える。	2	30	2		○		○		○		
33	○			ゼミ	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
34	○			ゼミ2	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
35	○			進級制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
36	○			卒業制作	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表する。	2	30	2		○		○		○	○	
37			○	業界研修	学習した知識・技術を実践で用い、実践力や社会人基礎力を身につける。	1	60	2			○		○		○	
38			○	インターンシップ	インターンシップを通して職業観を養い、就職活動に活かすことができる。	2	60	2			○		○		○	
39			○	専門実技演習	専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明ができる。	2	30	2		○		○			○	
40			○	専門科目	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
41			○	専門科目2	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
42			○	専門科目3	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	

43			○	専門科目4	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。	2	30	2	○	△		○			○	
44			○	イベント・ボランティア活動	学内外で行われる様々なイベントやボランティア活動を通してリーダーシップ、フォローワーシップを体得できる。	1 2	60	2			○		○	○	○	
45			○	健康運動実践指導者基礎講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
46			○	健康運動実践指導者筆記試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
47			○	健康運動実践指導者実技試験対策講座	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができる。	2	30	2		○		○		○		
48			○	アスリートフードマイスター	アスリートのパフォーマンスを最大化するための最適な食プログラムを学び、クライアントに合わせた食事指導ができる。	1	15	1	○			○			○	
49			○	SAQインストラクター レベル1試験対策講座	スピードシステムや解剖学的な視点から知識や動作を獲得し、コーチング視点を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
50			○	幼児体育指導者	子どもに身体を動かす楽しさや素晴らしさを伝えることができる。理論・指導手順・手本・補助を正しく学び、自信を持って指導できるスキルを身につける。	1 2	15	1		○		○			○	
51			○	FTPマットピラティス受験対策講座	身体の内側に意識を集中させ、全身をバランスよく動かしながら、身体の筋肉を鍛えゆがみのない柔軟性のあるしなやかな身体を身につけ、指導できる。	2	30	2		○		○			○	
52			○	ADI筆記試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2	○			○			○	
53			○	ADI実技試験対策講座	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
54			○	スキルアップ Skill Up	集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につける。	2	30	2		○		○			○	
55			○	トレーニング指導者基礎講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
56			○	トレーニング指導者受験対策講座	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
57			○	スポーツシューフィッター	足の機能解剖や疾患の評価、治療に関する知識や形態観察とサイジング技術を習得。目的に合った正しいシューズ選びとインソール選択のアドバイスができる。	1	15	1	○			○			○	

58			○	AT受験対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	1	30	2	○			○			○	
59			○	AT受験対策講座2	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
60			○	AT受験対策講座3	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2	○			○			○	
61			○	AT実技対策講座	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどができる。	2	30	2		○		○			○	
62			○	RF受験対策講座	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
63			○	RF受験対策講座2	バーベルとプレートを使用したアスレチックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができる。	2	30	2		○		○			○	
64			○	リトモス受験対策講座	各種のダンス（ヒップホップ、ラテン、ダンス、サルサトン、ジャズ、アラビアン、レゲトン）レッスンができる。	2	30	2		○		○			○	
65			○	健康予防管理専門士受験対策講座	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	1	30	2	○			○			○	
66			○	健康予防管理専門士受験対策講座2	年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができる。	2	15	1	○			○			○	
67			○	NSCA受験対策講座	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
68			○	NSCA受験対策講座2	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができる。	2	30	2	○			○			○	
69			○	MOSスペシャリスト受験講座	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
70			○	MOSスペシャリスト受験講座2	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを習得できる。	2	30	2	○			○			○	
71	○			救急法	人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得できる。	1	30	2	○			○		○		
72	○			トータルビューティ	美容の知識を総合的に学び、実践できる。	1	30	2		○		○			○	
73	○			グループレッスン	複数で一緒に運動プログラムやリラクゼーションプログラムを体験するとともに、グループに対する指導スキルを身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	

74	○			ピラティス	体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。	1	30	2		○		○			○	
75	○			ウエイトコントロール	クライアント一人ひとりの目的（増量・減量）や年齢代に合せた食事のアドバイスやトレーニングの指導方法を習得することができる。	1	30	2	○			○			○	
76	○			トータルビューティ2	美容の知識を総合的に学び、実践できる。	1	30	2		○		○			○	
77	○			ボディケア2	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。	1	30	2		○		○			○	
78	○			バランストレーニング	バランストレーニングの様々なツールを使用した指導法を学ぶ。指導プログラムを立案できる。	1	30	2		○		○			○	
79	○			フィットネスエクササイズ2	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	1	30	2		○		○			○	
80	○			機能解剖学演習	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。	2	30	2		○		○			○	
81	○			ヨガ	理論から呼吸法、実践指導にいたるまでのすべてを学び、実践できる。	2	30	2		○		○			○	
82	○			対象者別運動指導	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。	2	30	2		○		○			○	
83	○			スポーツ栄養学3	運動時における栄養摂取サプリメントについて学ぶとともに、アスリートの食育法を習得することができる。	2	30	2	○			○			○	
84	○			評価分析	クライントの特徴について評価方法を学び、静的アライメントおよび動作を評価できる。	2	30	2		○		○			○	
85	○			パーソナル指導法	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
86	○			フードコーディネート	食ビジネスの全般にわたるデザイン、調理や栄養などの専門的知識を習得することができる。	2	30	2	○			○			○	
87	○			女性の身体的特徴	妊娠・月経・冷えなど女性特有の身体的特徴について正しく理解し、クライアントに合わせた説明ができる。	2	30	2	○			○			○	
88	○			スタジオプログラム	フィットネス業界で流行しているスタジオプログラムを体験し、スキル・体力を高めることができる。	2	30	2		○		○			○	

89	○			パーソナル指導法2	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。	2	30	2		○		○			○	
合計					89 科目			173 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	２年間の合計修得単位が１１４単位以上の者は、卒業することができる。 ※不合格科目のある者は卒業判定会議により最終決定する。	１学年の学期区分	２期
履修方法：	講義・演習・実技・実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行う。	１学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。